# がのべい

第　62　号

公益社団法人岐阜県浄化槽連合会 会誌

発 行 日　2022年2月17日
発 行 所　岐阜市六条大溝４-13-６
発 行 者　公益社団法人岐阜県浄化槽連合会
会長　玉川福和
電話番号　058-274-0617
FAX番号　058-275-7045


## 目　　次


年頭所感…… 2
岐阜県知事　古田　　肇
会長　　玉川　福和

浄化槽の水処理グラフ…… 4
Ｄランクの水質改善事例
ピット分離槽の設置…… 6

2021年度 第20回浄化槽実務者研修会
案内…… 9


## 水処理グラフ

岐阜県では水処理グラフを使い、水質の動向を追跡しています。平成23年からデジタル化を進め、現場でタブレット入力をする「浄化槽電子カルテシステム」を導入し、３業種が同一ソフトで経時的な水質状況を判断しています。

この水処理グラフはこれまで年度末に集計するため１年前のグラフでしたが、完全デジタル化により、**昨日時点の水処理グラフが作成可能**になりました。

業者別にもグラフ化し、各社が水質向上に向け邁進します。

# 年頭所感

岐阜県知事　古田　肇

あけましておめでとうございます。

公益社団法人岐阜県浄化槽連合会及び会員の皆様には、日頃から、浄化槽の適正な施工・維持管理を通じまして、生活環境の保全や公衆衛生の向上に格別のご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、感染症対策や疲弊する生活・経済の下支えに全力を注いだ一年でした。厳しい状況が続く中、「オール岐阜」でのご協力に対し心より感謝申し上げます。

このコロナ禍にあっても、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、この大会を契機とした県産品、農畜水産物の魅力発信に努めました。また、新たにオンラインを活用した各種交流事業、頻発する自然災害への対応など、着実に県政を進めてまいりました。

今年は、「ウィズコロナ」を乗り切るための感染症対策を最優先課題としつつ、「アフターコロナ」を見据え、幅広い分野の政策を展開してまいります。

「ウィズコロナ」の取組みとして、療養者受入体制の準備やワクチン追加接種の着実な実施を進めてまいります。また各般の生活・経済支援を実施するなど、感染拡大の防止と社会経済活動の回復との両立を図ってまいります。

「アフターコロナ」の取組みとして、商工業・農林業などあらゆる分野のデジタル化を推進し、「誰一人取り残されないデジタル社会」を目指してまいります。また、「脱炭素社会ぎふ」の実現のほか、「新たな地方回帰」の流れを岐阜県に呼び込んでまいります。

同時に、「『清流の国ぎふ』創生総合戦略」で掲げる三つの政策の柱に基づき「清流の国ぎふ」づくりを推進してまいります。

「人づくり」では、産業人材を育成してまいります。また、オンライン教育を一層推進してまいります。

「地域づくり」では、防災・減災対策に万全を期してまいります。また、健康づくりへの機運を一段と醸成してまいります。

「魅力と活力づくり」では、関ケ原古戦場を核とした広域的な武将観光を推進するとともに、本県の魅力的な資源を磨き上げ、世界に通用する観光地を目指してまいります。また、伝統文化の振興・発信の取組みを継続してまいります。

さて、浄化槽の良好な処理性能を発揮するために必要となる「保守点検」、「清掃」、「法定検査」の三つの維持管理においては、皆様の多大なご尽力により、ここ岐阜県から先進的な取組みが数多く発信されているところであり、清掃、保守点検、法定検査を担う三業種が連携し、一体となって良好な水質を確保していただいております。また、十一条検査の受検率は、らくらく一括契約等の取組みにより、現在、97.0%となっており、平成28年度以降、4年連続で全国一位の受検率であり、平均の43.8%を大きく上回っております。

「清流の国ぎふ」づくりを推進する県としましても、浄化槽の適正な維持管理や法定検査受検率のさらなる向上に向け取り組んでまいりますので、皆様方におかれましても、引き続きご協力をお願いいたします。

今年一年の公益社団法人岐阜県浄化槽連合会会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

# 年 頭 所 感

全国環境整備事業協同組合連合会
公益社団法人岐阜県浄化槽連合会
会長　玉川　福和

## デジタル化（ペーパーレス）

２０２１年９月、国ではデジタル庁が設立された

①　全国環整連では、「浄化槽電子カルテシステム」を導入し、現場でのタブレット入力とした。

②　タブレット画面では、紙での清掃記録票と同様のレイアウトで入力することができ、清掃、保守点検、法定検査の共通項目が複数年確認することで、経時的な水質状況を判断しながらの作業が可能となっている。

③　現場でのデジタル入力により、事務所に戻っての入力作業がなくなり、作業の効率化も図られた。

④　更に水処理グラフの自動作成により、透視度３０度以上をＡランク、２０度以上３０度未満をＢランク、１０度以上２０度未満をＣランク、１０度未満をＤランクとして浄化槽の水質状況が即座に表示されるようになった。

⑤　行政は、浄化槽維持管理状況行政閲覧システムにより記録票が閲覧できる。

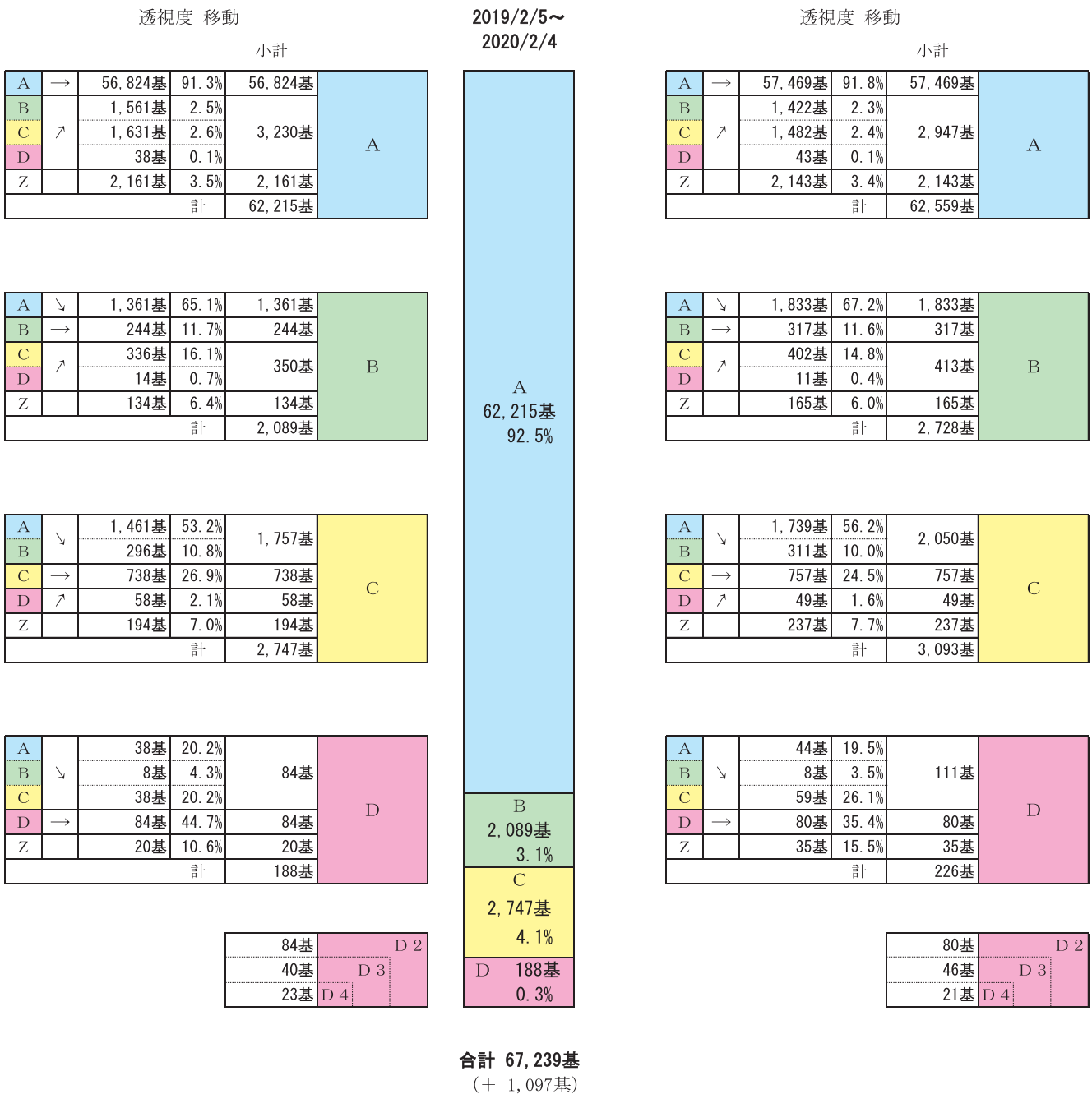
浄化槽の維持管理において、ほとんどのデジタル化は達成されたが、今後ますます進化していくことになる。

※　岐阜県では、下水道等集合処理施設のデジタル化による維持管理の実施が開始された。

⑥　デジタル化により、毎日の膨大な日報の紙が不要となり、水質管理に必要なデータがピックアップされ、自治体がピックアップ欄を見ることで施設管理の良し悪しを確認できるようになった。

デジタル化を進める上で重要なことは、同一作業を行う複数の業者が同一ソフトを利用することにある。
現在日本でデジタル化が進んでいない原因は、省庁、県、市町村、業者それぞれが、独自のソフトを持っているからである。

# 浄化槽の水処理グラフ　合併処理浄化槽１０人槽以下




透視度

| | |
|---|---|
| A | 30度以上 |
| B | 29～20度 |
| C | 19～10度 |
| D | 10度未満 |

内訳

| | | |
|---|---|---|
| ＋ | 7 | ７条検査　新設 |
| ＋ | K | １１条契約 |
| － | Z | 下水・空家・契約変更 |

透視度 移動

| 2020/2/5～2021/2/4 | | | | | 小計 | 2021/2/5～2022/2/4 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| A | → | 57,897基 | 91.2% | 57,897基 | A | A 63,464基 91.4% |
| B | ↗ | 1,921基 | 3.0% | 3,662基 | | B 2,690基 3.9% |
| C | | 1,699基 | 2.7% | | | C 3,068基 4.4% |
| D | | 42基 | 0.1% | | | D 206基 0.3% |
| Z | | 1,905基 | 3.0% | 1,905基 | | |
| | | | 計 | 63,464基 | | |
| A | ↘ | 1,684基 | 62.6% | 1,684基 | B | |
| B | → | 378基 | 14.1% | 378基 | | |
| C | ↗ | 410基 | 15.2% | 431基 | | |
| D | | 21基 | 0.8% | | | |
| Z | | 197基 | 7.3% | 197基 | | |
| | | | 計 | 2,690基 | | |
| A | ↘ | 1,557基 | 50.8% | 1,919基 | C | |
| B | | 362基 | 11.8% | | | |
| C | → | 849基 | 27.7% | 849基 | | |
| D | ↗ | 75基 | 2.4% | 75基 | | |
| Z | | 225基 | 7.3% | 225基 | | |
| | | | 計 | 3,068基 | | |
| A | ↘ | 26基 | 12.6% | 93基 | D | |
| B | | 6基 | 2.9% | | | |
| C | | 61基 | 29.6% | | | |
| D | → | 81基 | 39.3% | 81基 | | |
| Z | | 32基 | 15.6% | 32基 | | |
| | | | 計 | 206基 | | |

| | |
|---|---|
| 81基 | D2 |
| 52基 | D3 |
| 33基 | D4 |

**合計 68,606基**
（＋ 1,367基）

**合計 69,428基**
（＋ 822基）

透視度とＢＯＤ 相関関係

| 透視度（度） | ＢＯＤ値（mg/L） |
|---|---|
| 30 | 13 |
| 20 | 20 |
| 10 | 42 |

# Ｄランクの水質改善事例　ピット分離槽の設置　（実務者研修会資料より抜粋）

## Ｄランク（透視度１０度未満）

| 2019/3/31 | 2020/3/31 | 2021/3/31 |
|---|---|---|
| 201 基 | 195 基 | 235 基 |

2021/3/31 の内訳

| | | | |
|---|---|---|---|
| １年目 | | Ｄ１ | １５３基 |
| | ２年連続 | Ｄ２ | ８２基 |
| | ３年連続 | Ｄ３ | ５０基 |
| | ４年連続 | Ｄ４ | ２７基 |

## Ｄ４（２７基）の原因調査

| 原因 | 基準 | 測定値 | 基数 |
|---|---|---|---|
| 日平均汚水量が多い | 200 L/ 人・日 | 1.04 ㎥/ 日以上 | １３基（４８％） |
| １ 室 BOD が高い | 流入水 BOD200 mg/L | 360 mg/L | １６基（５９％） |
| １ 室 pH が低い | 5.8 ～ 8.6 | 6.0 以下 | １３基（４８％） |
| n-Hex が高い | 25 mg/L | 55 mg/L 以上 | １０基（３７％） |
| 放流水 BOD が高い | 20 mg/L 以下 | 53 mg/L 以上 | ２４基（８９％） |

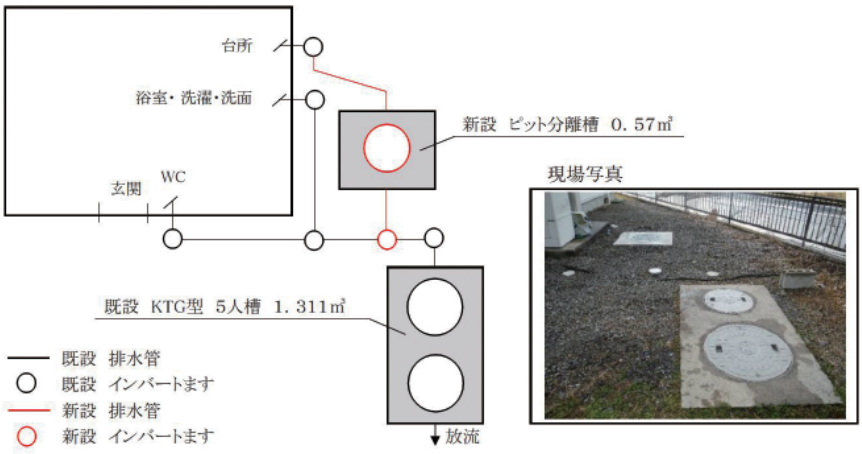
## 対象施設

① ３年連続透視度10度未満
② ㈱ハウステックKTG型５人槽（４人使用）
③ 保守点検 年３回、清掃 年４回
④ 原因は摂食障害（拒食症）嘔吐場所 台所
⑤ 使用水量は母屋と併用のため分からない

## 改善対策

流入負荷が高い台所からの排水箇所にピット分離槽を設置

※ ピット分離槽は、本来は流入ポンプ槽として使用されているもので、ポンプを設置せず、Ｔ字管を取り付け、固液分離を行う



ピット分離槽　設置前

拒食症の方で、平成２３年の使用開始から１０年ずっとＤランクのため、清掃を年４回行ってきましたが、改善には至っておりませんでした。聞き取りによりキッチンで嘔吐していることから、キッチンと浄化槽の間にピット分離槽を設置しました。

| | | 透視度 | | pH | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 次 1 室 | 放流水 | 1 次 1 室 | 放流水 |
| 清掃 | R1.12.24 | - | 3 | - | 6.5 |
| 清掃 | R2.3.16 | 2 | 4 | 6.0 | 5.7 |
| 保守点検 | R2.4.16 | 2 | 3 | 6.0 | 6.0 |
| 法定検査 | R2.5.13 | - | 5 | - | 6.3 |
| 清掃 | R2.6.18 | 2 | 4 | 6.5 | 6.4 |
| 保守点検 | R2.8.24 | 2 | 3 | 6.6 | 6.8 |
| 清掃 | R2.9.17 | 2 | 3 | 6.3 | 6.3 |

透視度が４であった2020年12月１日にピット分離槽を設置し、12月21日（設置から20日後）清掃を実施しました。清掃46日後の２月５日には透視度は67まで改善しました。ピット分離槽のpHが4.1であることから、この排水が原因であることが確認できました。

| | | 透視度 | | pH | | ピット分離槽 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 次 1 室 | 放流水 | 1 次 1 室 | 放流水 | pH | 透視度 |
| 設置工事 | R2.12.1 | 4 | 4 | 7.0 | 7.0 | - | - |
| 清掃 | R2.12.21 | 6 | 17 | 6.2 | 6.5 | - | - |
| 清掃から 15 日後 | R3.1.5 | 10 | 19 | 5.3 | 6.6 | 4.2 | 10 |
| 清掃から 46 日後 | R3.2.5 | 21 | 67 | 6.5 | 6.8 | 4.1 | 12 |

ピット分離槽　設置後

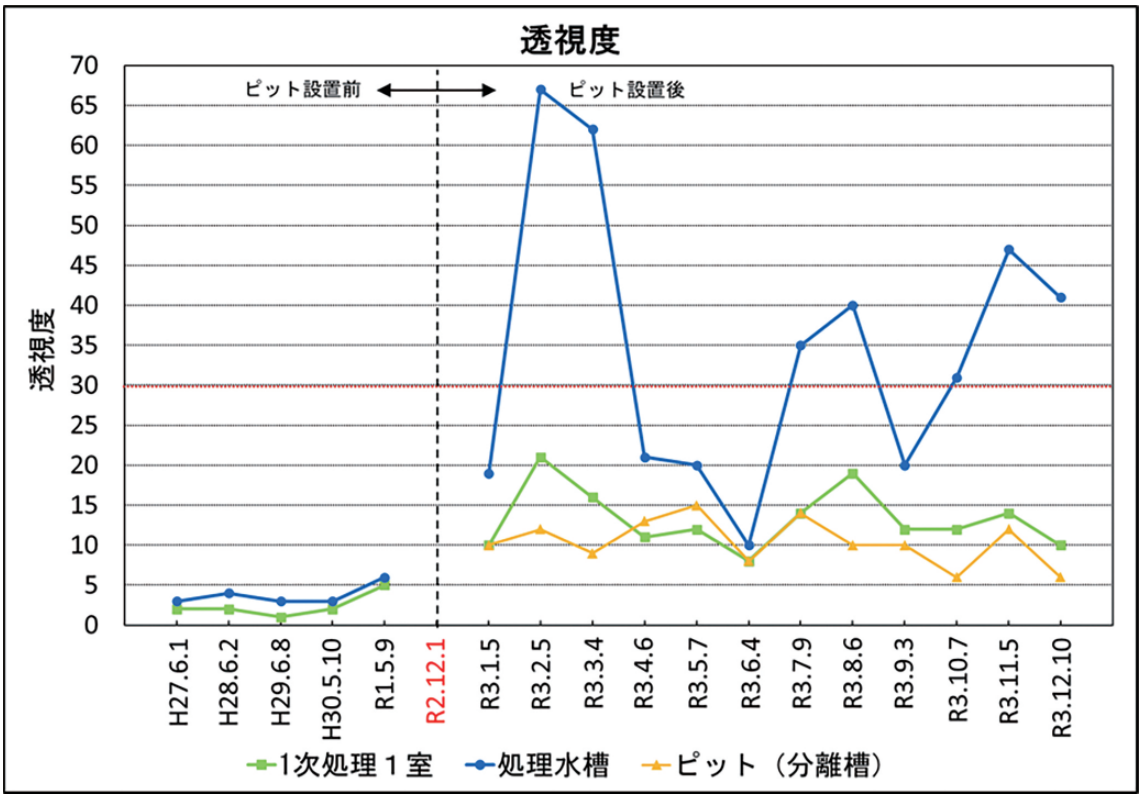
Ｒ３年６月４日　１０度まで低下したため、６月１５日にピット分離槽と１室の汚泥調整（清掃）を行いました。

Ｒ３年９月３日　２０度に低下しました。原因は自動逆洗の回数が多いため、１０分３回/日→１０分１回/日へ変更。
追跡調査から１０cm程、汚泥が処理水槽に堆積している方がSSの巻き上がりが少ないことが判明しました。

Ｒ３年12月10日　定期清掃実施したときは、放流水透視度４１度で良好でした。

| | | 透視度 | | pH | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 次 1 室 | 放流水 | 放 流 水 | ピット |
| 法定検査調査 | R3.6.4 | 8 | 10 | - | 4.7 |
| 清掃（汚泥調整） | R3.6.15 | - | - | - | - |
| 法定検査 | R3.8.6 | 19 | 40 | 7.2 | 4.6 |
| 清掃 | R3.12.10 | 10 | 41 | - | 4.5 |

透視度の推移




効果

・ピット分離槽によりpHが安定した。
・年４回清掃から、年１回の定期清掃と汚泥調整で水質が保持できた。

開催予定でしたが、
１月３１日理事会にて
中止となりました。

２０２２年１月２６日

公益社団法人 岐阜県浄化槽連合会
会長　　玉川　福和

# 2021 年度 第 20 回浄化槽実務者研修会のお知らせ

向春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

下記の通り、浄化槽実務者研修会を開催いたします。昨年と同様、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、受講人数を会場定員の半数、受講時間を３時間、昼食なしとし、さらにＰＣＲ検査、抗原検査または抗体検査を受け、陰性が確認された方のみの受講といたしました。

受講をご希望の方は、お問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。また、感染拡大の状況によっては、急遽中止する場合もございますので、ご承知おき下さい。

記

受講対象者　　ＰＣＲ検査、抗原検査または抗体検査を受け、陰性が確認された方
陰性が確認できるものをご持参ください。
（体調良好、マスク着用、会場入口にて検温いたします）
（会場にて当日抗原検査、抗体検査キットでの確認もできますので、
ご相談下さい）

申込締切　　２０２２年２月１０日（木）

受講料　　２，０００円（検査含まず）

開催日時・場所

| | | |
|---|---|---|
| ２月２２日（火） | 岐阜会場 | 午後の部 |
| ２月２５日（金） | 〃 | 午後の部 |
| ３月　１日（火） | 〃 | 午後の部 |
| ３月　４日（金） | 飛騨会場 | 午後の部 |
| ３月　８日（火） | 岐阜会場 | 午後の部 |
| ３月１０日（木） | 〃 | 午後の部 |

岐阜会場：岐阜県環境会館　　飛騨会場：飛騨・世界生活文化センター
午前の部：午前９：４５～１２：２０　午後の部：午後１３：３０～１６：０５

# 次　　第

午前の部　午後の部

9：45～　13：30～　（15分）　開会　講義

公益社団法人 岐阜県浄化槽連合会 会長 玉川福和

10：00～　13：45～　（５分）　県挨拶

岐阜県環境生活部長
岐阜県飛騨県事務所長

10：05～　13：50～　（15分）　浄化槽の水処理グラフ・Ｄランクの水質改善事例

一般財団法人 岐阜県環境管理技術センター

10：20～　14：05～　（15分）　岐阜県独自の取り組み

岐阜県浄化槽保守点検業協同組合

10：35～　14：20～　（15分）　新たな水処理業者としての責任

岐阜県環境整備事業協同組合

10：50～　14：35～　（15分）　水質改善に向けた３業種の取り組み

一般財団法人 岐阜県環境管理技術センター

11：05～　14：50～　（５分）　休憩

11：10～　14：55～　（15分）　行政からの報告

岐阜県生活環境部廃棄物対策課

11：25～　15：10～　（15分）　行政からの報告

岐阜県都市建築部建築指導課

11：40～　15：25～　（10分）　岐阜県浄化槽生涯機能保証制度 修理実績と事例

公益社団法人 岐阜県浄化槽連合会 判定委員会

11：50～　15：35～　（15分）　浄化槽設置時の留意事項について

岐阜県管設備工業協同組合

12：05～　15：50～　（15分）　水創り王型の特徴と維持管理のポイント

ニッコー株式会社

12：20　　16：05　　閉会